



愛媛
から

ツヤツヤなジャガイモの秘訣は落ち葉

見上太郎

西予市^{せいよ}の石山妙子さんのところにお邪魔したときに、掘りたてのツヤツヤなジャガイモを見せてもらいました。直売所で売るので見た目も大事。きれいにつくるポイントを聞くと、秘訣は落ち葉だと教えてくれました。

11月になるとたくさんの落ち葉が積もるので、集めて袋に詰めておきます。それを、種イモを植えるときに一緒に埋めるだけです。約25mのウネに深さ30cmほどの植え溝を掘ったら、そこを落ち葉でいっぱいにして、長靴で踏んで鎮圧。落ち葉のベッドの上に種イモを並べ、覆土して完成です。以前は石山さんのジャガイモの肌もカサブタのようにガサガサしていたのですが、落ち葉を入れるようになってからはすっかりキレイになったといいます。

もともと裁縫業をしていたという石山さん、

落ち葉を入れる袋を手づくりしていて、ジーンズ生地^{ズ生地}の袋に入った落ち葉が輝いて見えました。



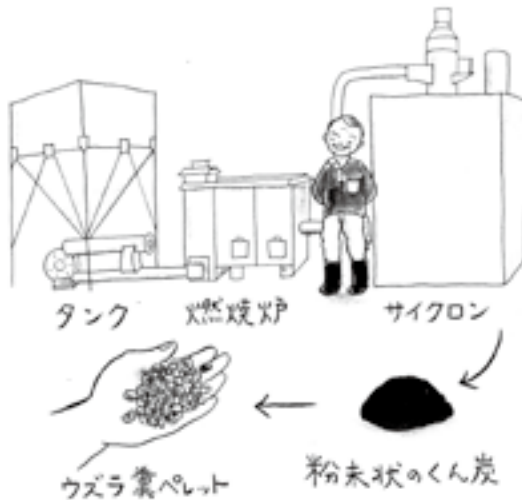
岡山
から

モミガラをどんどんやけるくん炭製造機

東 菜津美

晴れの国岡山農協つやま東部アグリセンターの森本義明さんによると、昨今はコロナの影響で、これまでモミガラを引き取ってくれていた先の製鉄所の稼働率が落ち、農家はみんな処理に困っているそうです。

そこで森本さんが注目しているのが、津山市で15haの有機稲作をする水島義明さん。6年前に地元の鉄工所と共同で、30000ℓのモミガラを6時間で焼けるくん炭製造機を開発しました。モミガラを内蔵のファンで連続的に燃焼炉に送るのですが、温度が上がるとケイ酸が不溶化してしまうので、600～800℃を保ちながらやくのが特許技術です。できたくん炭は形が崩れて粉末状。水溶性ケイ酸がたっぷり、化学肥料の多投でやせた土地にまけば地力アップ効果が期待できます。



そのままくと風で飛んでしまうので、肥料メーカーへ委託して、ウズラ糞と合わせた有機JAS適合のペレット肥料もつくりました。鶏



大分
から

目玉焼きに輪切りリンゴ

吉村花林

糞よりチツソ成分は高いのですが、くん炭と合
わせればニオイも抑えられます。

モミガラが余っている地域は全国でも多いそ

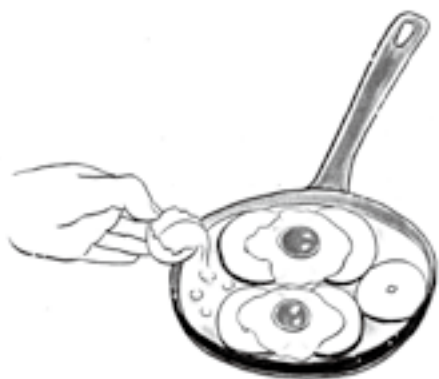
うで、農協の森本さんは「村に1台こういうく
ん炭製造機があれば、うまく活用できるので
は」と話しています。

最近はリンゴを輪切りにして食べるのが流行
っていますね。リンゴ好きな杵築市の藤本良子
さんは、輪切りリンゴをハムのように、目玉焼

きと一緒に焼いて食べています。

リンゴはまず、包丁の薄さほどに輪切り。フ
ライパンに並べて、上に卵を割ります。ポイン
トは、割った殻に水を入れて、フライパンの鍋
肌に戻すこと。フタをして、弱火でその
まま3〜4分。蒸し焼きにすることで焦げ付か
ず、塩や醤油で味付けする必要もないくらい甘
みも増すといえます。

「リンゴはかじっても美味しいけど、加熱する
といっそう甘くなるのね」と藤本さん。同感で
す。今月号244ページからも「リンゴ大好き！の
レシピ」特集がありますので、ご覧くださいね。



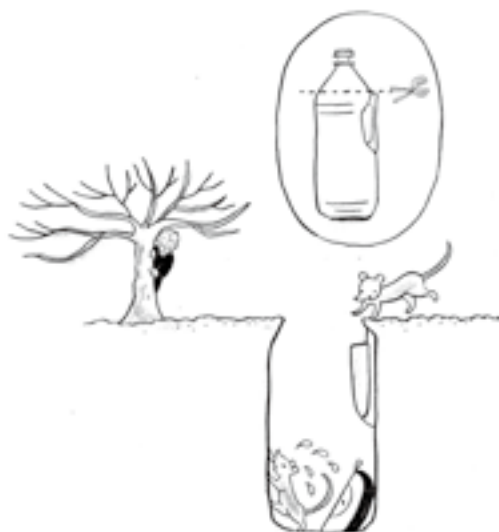


青森
から

リンゴのネズミ害にリンゴのワナ

櫻井 歓太郎

黒石市でリンゴを栽培する工藤栄さんは、樹をかじるネズミに困っていました。とくに若木をかじられ、何本も枯らしてしまったといいます。そんなとき、「米ヌカペットボトルでネズミが溺れる」の記事（**現**2016年12月号p229）を見て、やってみることにしました。



米ヌカペットボトルとは、水と米ヌカを入れたペットボトルを土に埋めておくワナのこと。米ヌカの甘い匂いにつられたネズミが、落ちて溺れてしまうというカラクリです。

工藤さんはこれを応用。春先に雪が解けたら、口を切った焼酎用のペットボトル（4ℓ）をリンゴ畑に埋めておきます。米ヌカの代わりにリンゴをひとかけペットボトルに入れておくと、甘い匂いにつられてネズミがどんどん飛び込むそうです。リンゴが腐ってしまうため水は入れませんが、落ちたネズミはペットボトルを這い上がれず、リンゴを食べきる前に死んでしまうとのこと。

このワナ、今は2・5haの圃場に20〜30本はしかけていて、被害はかなり減ったといいます。リンゴのネズミ害はリンゴをもつて制する！



和歌山
から

今、農系ポッドキャストが熱い！

寺元和矢

皆さんは作業中になにか音楽を流していますか？ ラジオ派の方もいらっしゃるかと思います。最近、音声配信メディアのポッドキャストが面白いと、和歌山市の若手果樹農家・山本康平さんに教えてもらいました。

ポッドキャストとは、スマートフォンなどで聞ける無料のラジオのこと。ユーチューブなどの動画と違ってずっと見ている必要もなく、作業しながら聴けることがポイントです。農系の配信も多く、栽培している作目



について農家自らが解説したり、結婚相談員をゲストに呼んで農家の婚活事情などを話したりと、内容は多岐にわたります。農家なら共感できる話題が盛りだくさんなので、きつとお気に入りが見つかるはず。山

本さん自身も「よるのうか」という名前で配信しています。

山本さんのお勧めは『ベジフル大百科』と『ノウカノタネ』の2本。それぞれ作目について詳しく説明したり、農家の日常を配信したりしているそうです。